



# 仲よく助け合おう

## かんばったフィールドワーク



開会式の様子

今年も新型コロナウイルスの関係で、バス遠足ができなくなり、10月1日(金)に、2年目となる校区内フィールドワークを実施しました。最近、登下校の送り迎えが多くなり、子どもたちが歩かなくなっています。その上に家庭生活でもゲームやテレビ、インターネット等で運動不足になりがちの子が多いです。本校は、全国や徳島県平均と比べ、特に肥満傾向の子どもが多いことで、県教育委員会からもたびたび指導を受けています。そういうことから、子どもたちに、楽しく歩いてもらおうと企画したのが今回のフィールドワークです。

コースは、昨年度の西コースとは異なり、道の駅いたのまでの往復約4kmで途中、9つの関門を用意しました。

白組(松組)が反時計回り、赤組(竹組)が時計回りに、道の駅いたのをめざしてそれぞれ4つずつの関門をゲームなどをしながらクリアしていくという行事です。

白組のコースでいうと、はじめに、東公会堂で「なかまづくりの国」ということで、ガムテープに名前を書いて貼り付けます。次は、板野駅で、「凶工の国」です。3つ目は、駅南公園で「暗闇の国」と言って、めかくし体験をしてもらいました。その次は、大寺橋北詰で、「大声の国」、全員で叫んでもらいました。午前中のゴールは、道の駅いたので、「クイズの国」ということで、道の駅いたのにま

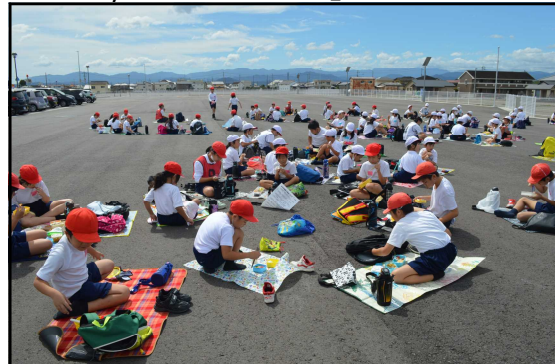


暗闇の国

つわるクイズを解いてもらいました。

班ごとに、楽しくお弁当を食べて、集合したら、町交通安全協会・交通安全母の会の皆さんが、交通安全クイズと徳島板野警察署から提供された反射キーホルダーを配布してくださいました。

午後からは、板野大橋を通過して、コープの倉庫前で、「沈黙の国」で、ジェスチャーゲームをし



「道の駅いたの」たのしいお弁当



交通安全母の会のみなさん

ます。田んぼの中の道を通って鳴池線の高架下にある「歌の国」で、みんなで歌を歌いました。北進し金泉寺では「理科の国」ということで、動物か植物の名前をたくさん書くというゲームを、最後の亀山神社では、「国語の国」で、全員であいうえお表を完成させて、学校でゴールとなります。

(赤組はこの逆の順でコースを設定しています。)

今年は、午前中は曇っていて風もあり快適だったのですが、午後からは陽ざしが暑く、体調悪化などでリタイアした子も数人でしたが、多くの子がゴールまで歩き通すことができました。

高学年の子は、周囲の安全にも気を配りながら、低学年の子を励まし、課題に積極的に取り組んでいました。自信になったと思います。小さい学年の子も、無理やわがままを言わず、非常に素直に協力でき、素晴らしかったです。



優勝した「白9班」